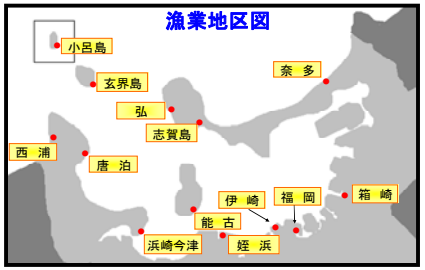
「第9次福岡市水産業総合計画（平成24年度～平成28年度）」案について

＜位置づけ＞
- ○本市水産業振興のための施策・事業実施の総合的な指針とする。
- ○国及び県等の水産業振興に関する計画と整合性のあるものとする。
- ○本市基本計画（マスタープラン）の水産業振興における部門別計画とし，本市の他の部門別計画との連携を図るものとする。

＜計画期間＞
平成24年度～28年度 （2012年度～2016年度）



水産業

＜水産業を取り巻く情勢＞

○国内外の情勢
- 水産資源状況の悪化
- 世界的な水産物需要の増加（新興国）
- 消費者の魚離れ
- 安全性・地産地消への関心の高まり
- 漁業生産構造の脆弱化

○国等の対応状況
- 資源管理・漁業所得補償対策の開始
- 6次産業化の推進（生産・加工・販売）
- 環境・生態系保全の促進

※ 東日本大震災復興への取組

＜福岡市水産業の現状と課題＞

○漁業就業者の減少と高齢化
（H17 900人→H22 706人），平均年齢（H17 57.9歳→H22 58.3歳）

○漁業生産量・生産金額とも減少傾向
（H17 5,893ﾄﾝ→H22 5,361ﾄﾝ），（H17 2,937百万円→H22 2,451百万円）

○漁場環境の改善
有害生物（グミ・ヒトデ）の出現，河川ごみの流入，藻場・干潟の造成

○漁家収入の低迷，漁協の経営基盤強化
漁業所得（H17 1,849千円→H21 1,669千円）
漁協事業収入（H17 1,614百万円→H22 1,500百万円）

○漁業地区ごとに個性が豊か
（養殖業：ワカメ[弘・志賀島]・ノリ[姪浜]・カキ[唐泊]，まき網漁業[小呂島]，朝（夕）市の開催[志賀島・伊崎他]，観光アサリ[能古・浜崎今津] など）
※13漁業地区の特色，主な取り組みを次期計画に記載

○市民ニーズ
- ・新鮮で健康・安全な水産物を重視・情報発信
- ・博多湾の環境保全を支持
- ・「魚がおいしいまち福岡」への期待

目標 「次世代につなぐ魅力ある水産業の振興」

＜基本的な振興方向＞

1 「持続性のある漁業環境づくり」
漁場環境の保全，つくり育てる漁業・資源管理の推進，漁港の整備

2 「次代を担う人づくり」
就業者・後継者の育成確保，新規事業に取り組む人材の育成

3 「安定した水産経営づくり」
市漁協等の経営基盤強化，水産物の販売力強化
13漁業地区毎の特色を生かしたブランド化等の施策の推進

4 「市民と都市とつながる水産業づくり」
水産物の食育・消費拡大，漁業と海洋性レクリエーションの調和

＜重点的に取り組む施策＞

1 「博多湾の漁場環境の改善」に努めます。
覆砂や海底耕うん等による底質の改善，藻場造成の推進

2 「つくり育てる漁業」や「省エネ型漁業」を推進します。
漁場造成，アサリ・ウニ・アワビ等の種苗放流，
ワカメ・ノリ・カキ等養殖業の推進，資源管理の推進

3 「水産物の販売力強化」への取り組みを支援します。
新商品開発やブランド化，農業・観光等の異分野との連携，
水産ベンチャーの育成

4 「水産物の食育・消費拡大」を推進します。
地産地消の推進，親子や中・高校生を対象にした料理教室の実施，
学校給食への水産物利用の検討，朝市・夕市の開催

藻場造成事業

梯型魚礁

アワビの種苗放流

唐泊恵比須カキ

金印汐わかめ

姪浜の朝市